

長崎県・県民の森資料館の実施案

設計ノート2. 森林資料館

村 田 明 久*

Enforcemental Project of Exhibition
in Nagasaki Prefectural People's Forest
Planning note 2. Forest materials exhibition

Akihisa Murata

基本設計の考え方

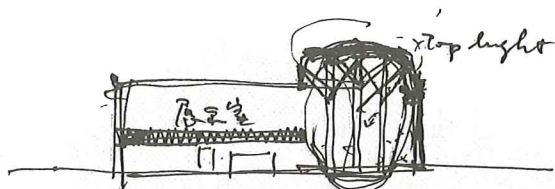
県民の森の自然環境にふさわしく、森のイメージを
ほうふつとさせるような建築づくりをめざす。

敷地は県民の森の入口部分にあることから、森への
期待を抱かせるような造形的配慮がある。このため、
市街地型の建物形態はさけ、丸みをつけて周りを自然
材でおおう。内部に森のイメージ空間をメインにとつ
て休憩、花木販売コーナーとして各室へつなげる。展
示は、森への興味をさそい、愛着、すばらしさを感じ
とれるように、やわらかい照明、素人っぽさとユーモ
ア、簡素で深い内容のものを工夫し、備品、家具等は
自然材の活用と造形的配慮をはかる。

建築の概略

名 称 県民の森・森林資料館

所 在 地 長崎県西彼杵郡外海町北大中尾郷上アマサ



・ IMAGE SKETCH

キ694

基本設計 村田明久（長崎総合科学大学建築学教室）

実施設計 溝上建築設計事務所

施 工 氏田建設

管 理 長崎県建築課

竣 工 1984年3月

構 造 鉄筋コンクリート造2階建

面 積 延床面積 283m²(1階/156m² 2階/127m²)

主な外部仕上 屋根——塗膜防水塗り

外壁——杉丸太半割防腐加工、吹付タ
イル

主な内部仕上 ホール——床/レンガタイル貼り

壁・天井/コンクリート打放
し

展示場——床/モルタル金コテ

壁/防災ビニールクロス貼り

天井/木毛セメント板

コンクリート打放し

和室——床/タタミ

壁/モルタル金コテ、ビニ
ールクロス貼り

天井/プリント石膏ボード

建 設 費 4,300万円

* 長崎総合科学大学建築学科講師

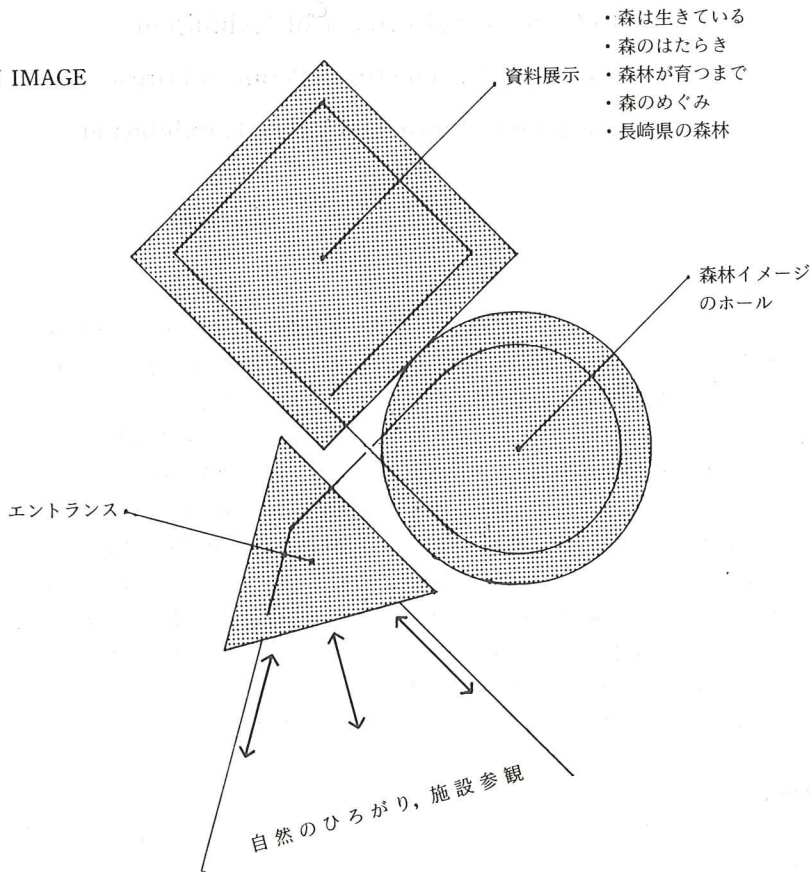
図面協力 竹下吉弘・三笠良夫（同 学生）

1984年6月15日受付

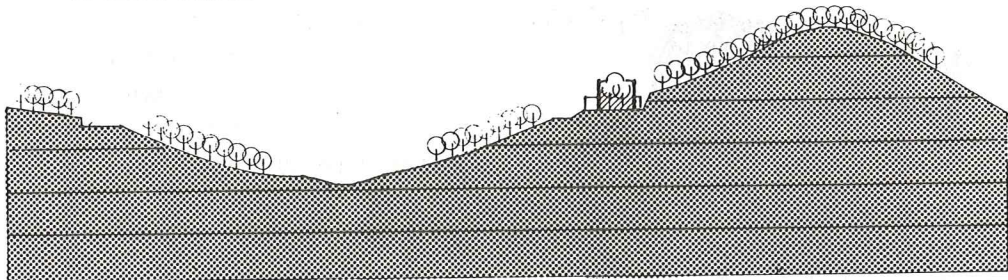
建設の経過

1983年 3月	基本設計の依頼(県林務課), プラン作成	11月	工事着工
4月	基本設計完了	12月	枠組工事, 1階コンクリート打
6月	実施設計業者入札 〈実施設計内容の打合せ〉	1984年 1月	2階コンクリート打, (展示物発注)
9月	実施設計完了	2月	ドームコンクリート打, 外壁丸太取付け, 内装工事, 吹抜け部分の樹木搬入, ドー ム取付け
10月	施工業者入札	3月	工事竣工, (展示物搬入)
		4月	落成式

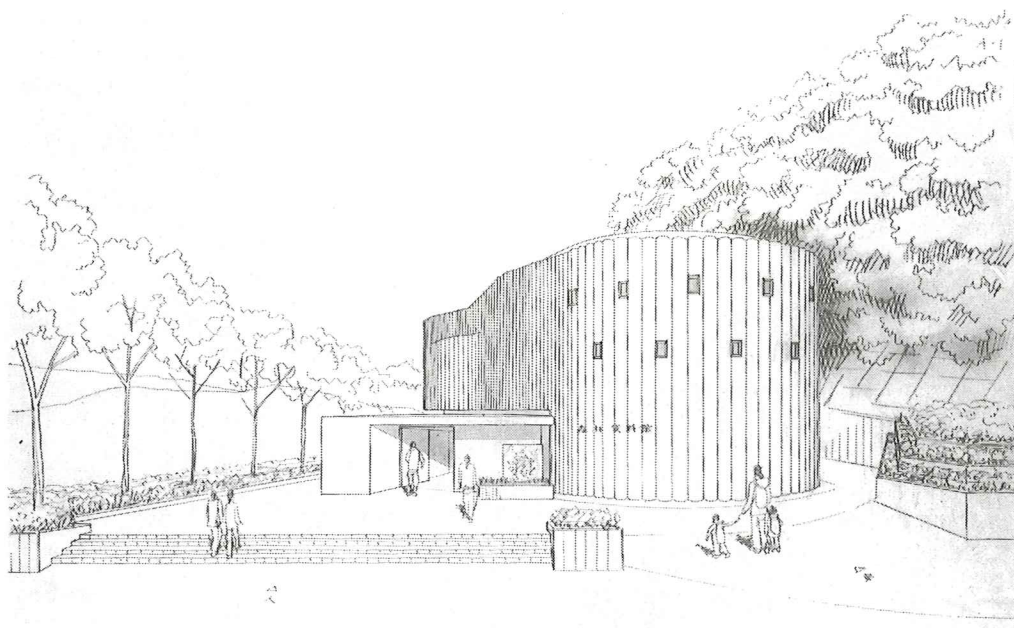
・ PLAN IMAGE



・ SECTION IMAGE



・ PLAN IMAGE



パース（基本設計）



写真-1 工事以前の状況

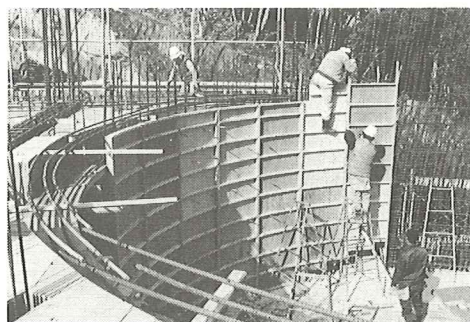


写真-2 枠組工事

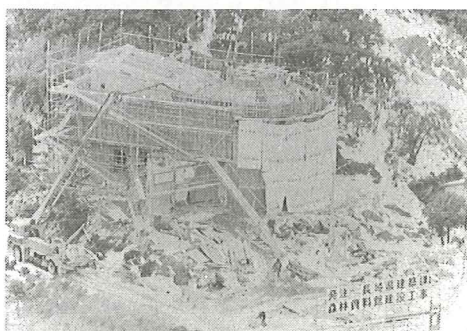


写真-3 雪の現場風景・ドームコンクリート打



写真-4 ドーム取付け

内 観

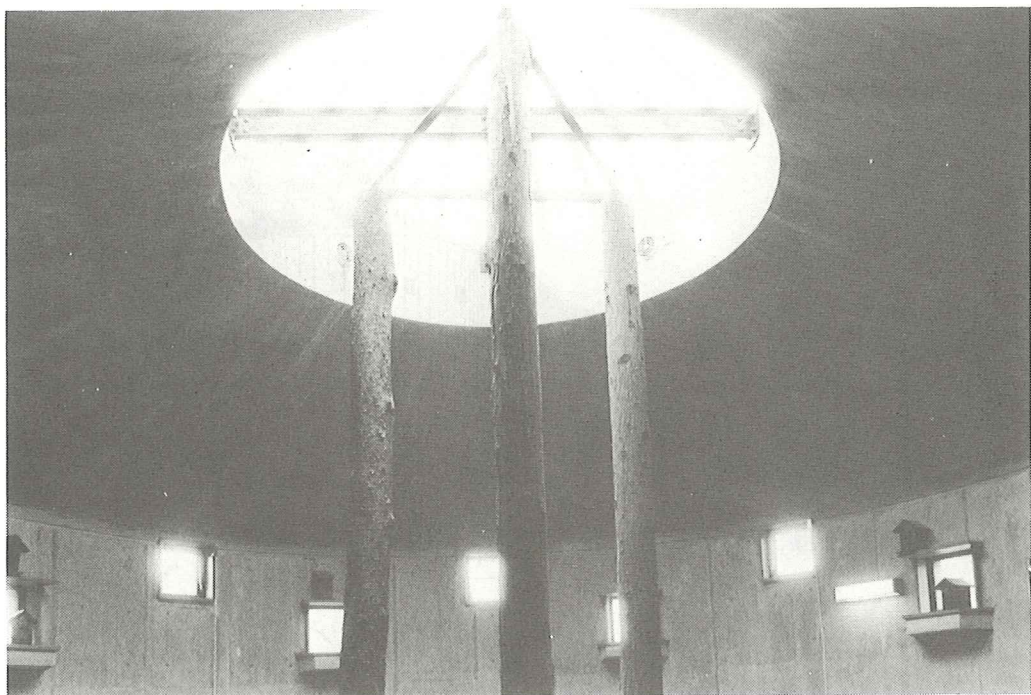


写真-5 ホール上部



写真-6 玄関ホール

外 観

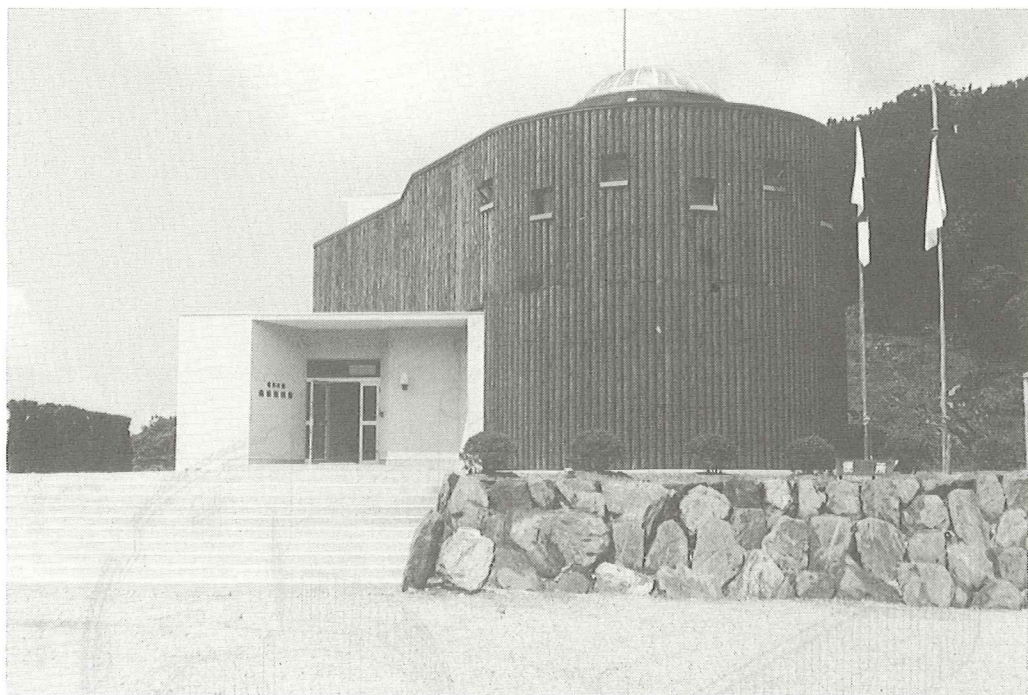


写真-7 正 面

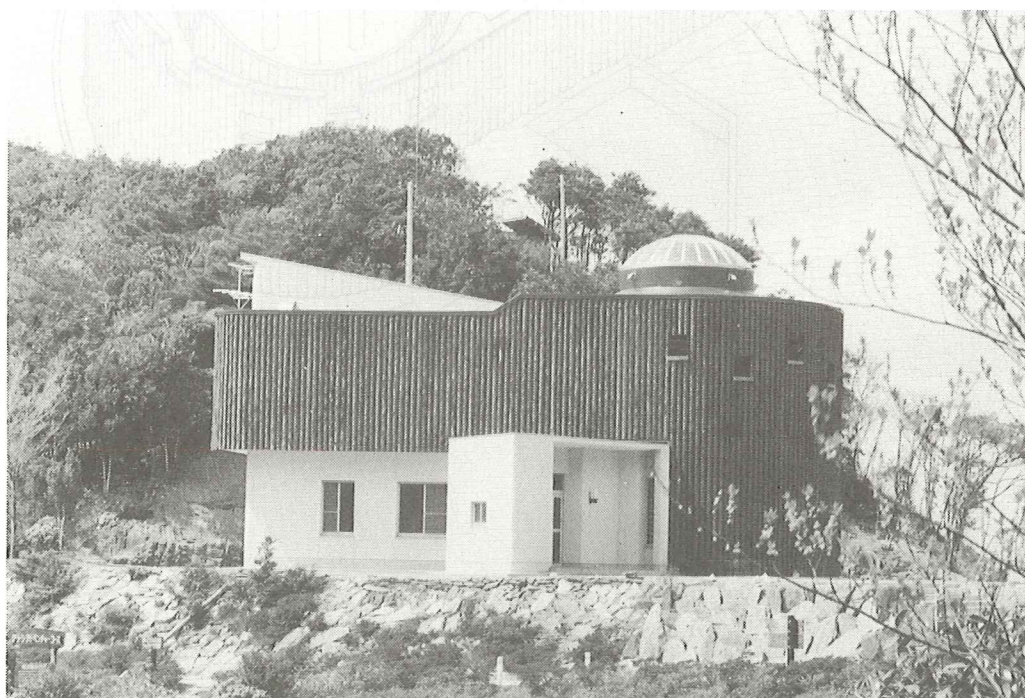
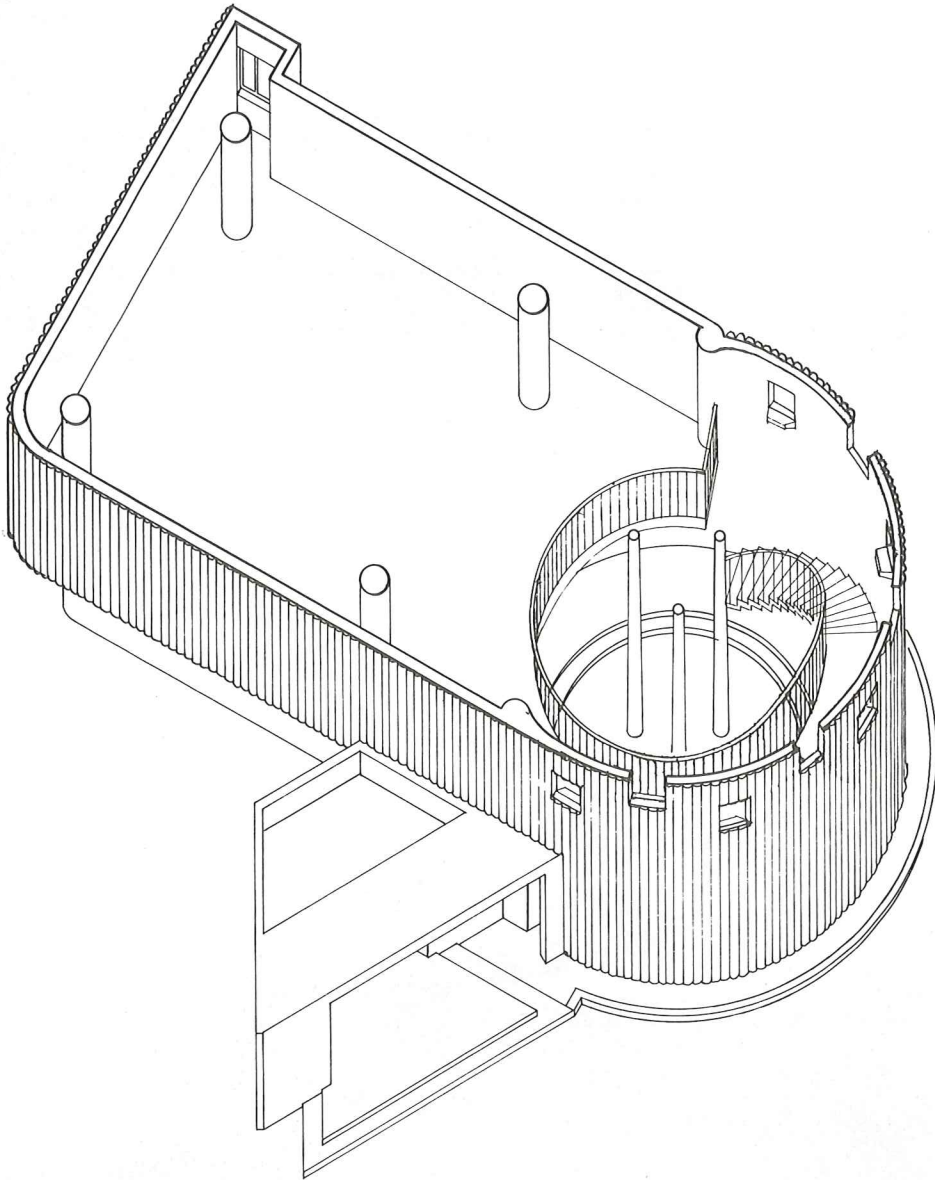
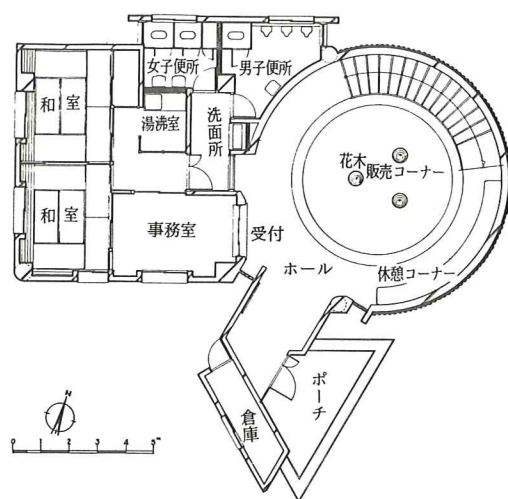


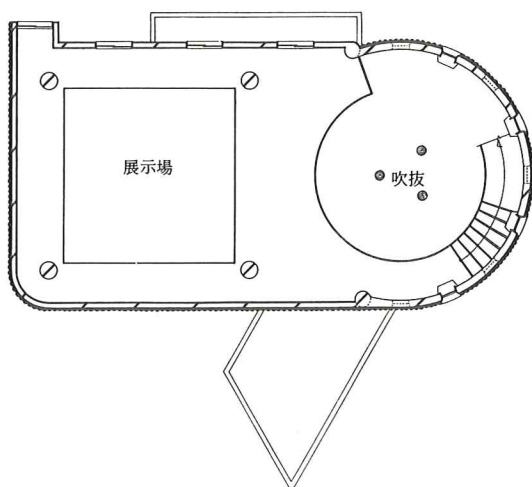
写真-8 側 面



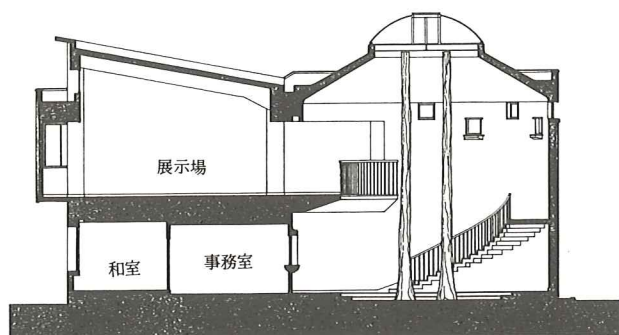
• SECTIONAL AXONOMETRIC



1階平面図



2階平面図



断面図